

株式会社 九州ソフトス

設立：2001年
所在地：熊本市西区
事業内容：情報処理 サービス業
従業員数：104名

令和2年10月現在

社員の豊かな生活を求めて



1. テレワーク導入目的

社員から通常の勤務では保育園の送迎が難しい、と相談を受けたことから5年前よりテレワークを導入した。

当時は育児や介護を理由としたテレワークのみを運用していたが、昨年4月の全国緊急事態宣言を機に育児や介護にかぎらないテレワークの運用を開始。感染拡大防止という社会貢献を目的に導入を開始し、現在は社員の多様な働き方の1つとして導入を進めている。

2. 導入にあたっての課題や不安をどう克服したか。

課題や不安	克服方法
○ テレワークの導入に当たって	・顧客にテレワークサービスを提供しているため、スムーズに実施できた。
○ 労働者からの意見は	・反対意見は特になく、通勤時間をカットでき、時間を有効に活用できると喜ばれた。
○ 管理職の意見は	・全社員がテレワークをできないため、テレワークを実施できない社員からの不満が出るのではないかとこの心配があったが、社会貢献として取り組みを始めてみよう、というチャレンジ精神でまずは始めてみることにした。
○ 取引先等の反応は	・事前にテレワークになる旨を周知および個別に連絡し、可能な限りメール等にてご連絡いただくように依頼した。

3. 実際にテレワークを行ってからの問題及びそれをどう克服したか

課題・不安及び手続きなど	克服方法
○ コミュニケーション不足	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットツールなど、以前から活用していたコミュニケーションツールの活用をより積極化。また、社歴が浅い社員などは、コミュニケーションの取りやすい環境を作るべく、オンライン会議を OJT 担当と常時接続し、いつでも声がけしやすいようにするなどした。
○ 労働者評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・日報およびチャットツール等での進捗報告等や成果物によりテレワーク未実施時と変わらない評価方法ができている。
○ 生産性について	<ul style="list-style-type: none"> ・テレワーク制度を整備することによって業務に集中することができるようになり生産性が向上している
○ セキュリティについて	<ul style="list-style-type: none"> ・TELET を使うことで、データを持ち出せない環境でセキュリティ維持した。
○ 労働時間・仕事の進捗状況の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・チャットツールを活用して出退勤、在籍の情報を把握している。 ・申請等はすべてグループウェアにて電子で実施。 ・日報等の提出で、進捗状況の把握を行っている。 ・オンラインにて毎朝短時間の朝礼を行い、社員の体調を確認するようにしている。

4. テレワーク形態

- <対象者> 顧客先でのサーバ管理部署を除き、全従業員が対象
- <作業場所> 自宅
- <実施のプロセス> 申請制、自社サービス TELET を利用
- <形態> ノート PC を貸与、状況に応じて出社（週 1 回程度）

5. 実施後のメリット

- 通勤時間 + α で時間的余裕、気持ちの余裕が生まれた。
- 生産性が上がり残業が少なくなった。
- 台風等で出勤が難しい状況でもテレワークで休業することなく業務を継続できた。
- 作業スペースを削減できた。

